

能登ヒバで豊かな響き

湊の木材卸売・加工会社

和太鼓、ギターなど試作

木材の卸売や加工を手掛ける湊1丁目の「フルタニランバー」が県産材である「能登ヒバ」(アテ)で楽器を製作するプロジェクト「ATE NOTE」を始めた。県内外のメーカーと和太鼓やギターなどを試作中で、今後、同社の一角にショールームを設ける。能登ヒバの特性として知られる抗菌やアロマ効果だけでなく、音響の良さに光を当て、県産材の活用を促す。

木目や独特の芳香を生かしながら、ギターやベース、ドラムセット、膝に載せて演奏する「ラップハーブ」などの共同開発を進めている。古谷さんによると、能登ヒバは音響ルームやスピーカーに使用された例はあるが、



県産材活用に「音を楽しんで」

もの、針葉樹のため、材質が広葉樹より柔らかく、楽器製作のネックとなっていた。そこで同社は、独自の木材乾燥技術「ウッドビー」で割れ目や反りがなく、木材を加工し、半分ほどの厚さに圧縮して強度を高めた。おけ太鼓を試作した「浅野太鼓楽器店」(白山市)の浅野正規専務は「遠くまで音が響き、余韻が長い。抗菌効果もあり、子どもに安心して使ってもらえる」と期待を寄せる。同店で年内をめどに販売を始める予定という。

自身も趣味で音楽活動をしている古谷さんは、能登ヒバの楽器尽くしでのバンド演奏を夢見ている。「特有のサウンドを体感してもらおうとともに、里山について関心を持つきっかけになってほしい」と話した。

能登ヒバで作った楽器を紹介する古谷社長
湊1丁目のフルタニランバ

華麗な演奏で魅了

OEK公演、新シーズン開始



オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の第4「モニー・シリーズ」(北國新聞社特別協力)は19日、県立音楽堂で開かれた。新シーズンのスタートとなる公演で、OEK常任客演指揮者の川瀬賢太郎さんがタクトを振り、国内外で活躍するピアノの菊池洋子さんが華麗な演奏を繰り広げた。菊池さんはシュー

金 沢

支援が必要な住民の人数把握を進める住民



マンの「ピアノ協奏曲」では、繊細な旋律を奏で、シヨパンの「アンタンテスピアナート」で華麗なる大ボロネーズ」では幻想的な音色を響かせ、聴衆を魅了した。アンコールでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった島根県松江市の「川瀬賢太郎×OEK日本ツアー」公演で演奏

夕日寺校下の高田町会は19日、初の在宅避難訓練を行い、防災士や民生委員らが約170世帯を見て回り、避難経路や健康状態などを尋ねたり、災害時の備えを確認したりして万が一に備えた。

自宅訪ね備えを確認 夕日寺・高田町会

夕日寺校下の高田町会は19日、初の在宅避難訓練を行い、防災士や民生委員らが約170世帯を見て回り、避難経路や健康状態などを尋ねたり、災害時の備えを確認したりして万が一に備えた。

初の在宅避難訓練 災害弱者の把握進める

同町会は住民約350人のうち年齢が7割以上を占め、傾斜地のため、避難に手助けが必要が多くなる。このため訓反省会では、災害弱者の正確な把握にも努めた。

今後は「ヘルプカード」を作成し、災害時や見守り活動に生かす。持病や家族の連絡先、かかり病院などを記した用紙を提出し、11月までにカードを作成し、携帯するよう促す。

防災士の上原謙一さん(64)は「命を守る考えを大切に、住環境をさらに高めたい」と話した。

金大附属小と五輪 選手との交流紹介

金大附属小と五輪選手との交流紹介オンラインセミナー。金大附属小の活動をまとめた書籍「大人を本気にさせる子どもたち」の出版記念セミナーは17日、オンラインで開かれた。福田晃教諭や市オリピック関連事

業推進室の職員が登壇し、児童と五輪選手との交流の軌跡を振り返った。

児童は市内で事前合宿することなどが紹介された。セミナーで田さんは「大きな力になるように、会場に持ち込むのが生まれる



海辺でゴミを拾い集める参加者
金石海岸

金石海岸きれいにビーチも跳ばす
クリーン・ビーチ
クリーン・ビーチいしかわ(本社特別協賛)の「グリーン・ビーチ&ビーチン跳ばしスペシャル大会2021」は19日、金石海岸で行われた。親子連れら約100人が砂浜清掃に汗を流し、ビーチン跳ばしの競技体験を楽しんだ。

新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に続いて「ビーチン跳ばし世界選手権」を取り止めたものの、今年は砂浜に競技体験用コートを設置した。

参加者は、ゴミ袋を手に海岸に散らばり、漂着して風で飛ばされたペットボトルや包装用プラスチック、マスクなどを一つずつ拾い集めた。ビーチン跳ばしのコートでは、首をひねりながら何度も挑戦する人もいた。



中村町校下の園児から中地元店の園児まで
中村町

園児から中地元店の園児まで
中村町
障害者支援
エイブルベ
表情豊かな